

平成20年度の地域密着型金融の取組み結果

アルプス中央信用金庫

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業、新事業支援

新規創業支援資金の実績は11先、14件、61百万円でした。

(2) 経営改善支援

外部コンサルタントと職員が同行して、53先に対して企業訪問を実施し、経営者に対して経営改善指導を実施しました。

営業店毎に独自の改善指導先として、44先を対象に、経営改善指導を集中実施しました。改善計画書の作成先は、97先の内31先でした。

20年度は、97先を経営改善指導先に指定し、21.7%のランクアップ先確保が出来ました。

(3) 事業再生支援

長野県中小企業再生支援協議会への相談持込案件は2件でした。

(株)日本政策金融公庫との連携融資案件は7件、62百万円でした。

(4) 事業承継支援

商工会議所の主催する事業承継セミナーに、参加しました。

ベンチャーリンクが主催する、「東京ビジネスサミット」に参加しました。

(出店企業3社、成約ビジネスマッチング1先、2件、ツアー参加者8名でした。)

自金庫内ビジネスマッチング情報は、339件が寄せられ179件が成約した。成約率52.8%でした。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資への取組み

職員の人材育成のため、全信協研修所の企業再生支援講座3名、目利き力養成講座3名、中小企業経営支援力養成講座1名を派遣しました。

流動資産担保の利用実績18件、123百万円でした。(売債のみ)

(2) 「目利き機能」の発揮に向けた取組み

シンジケートローン3億円を、(株)商工組合中央金庫との協調で対応しました。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 桜の開花に合わせておもちゃの博物館(コレクションの見学店と商品販売店)をオープンできるようになり、コレクション品の一部を希望する個々の店舗(25店舗)にも展示し、来店客増加を図るよう具体的方向性を固めることが出来ました。

経営改善支援の取組み実績

【20年度(20年4月～21年3月)】

アルプス中央信用金庫

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先				経営改善支援 取組み率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /	
			のうち期末に債務者 区分がランクアップした 先数	のうち期末に債務者 区分が変化しなかった 先	のうち再生計画を 策定した先数				
正常先	2,452	5		1	4	0.20%		80.00%	
要注意先	うちその他要注意先	414	67	13	50	16	16.18%	19.40%	23.88%
	うち要管理先	35	8	4	3	4	22.86%	50.00%	50.00%
破綻懸念先	92	15	2	12	7	16.30%	13.33%	46.67%	
実質破綻先	168	2	1	1	0	1.19%	50.00%	0.00%	
破綻先	72	0	0	0	0	0.00%	---	---	
小計(～の計)	781	92	20	66	27	11.78%	21.74%	29.35%	
合計	3,233	97	20	67	31	3.00%	20.62%	31.96%	

注) 期初債務者数及び債務者区分は20年4月初時点。

・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ロ-ン、住宅ロ-ンのみの先を含まない。

・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数。

なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はに含めるもののに含めない。

・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はに含む。

・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については

(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分。

・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めない。

・には、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数。

・みなし正常先については正常先の債務者数に計上。

・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」

+「金融機関独自の再生計画策定先」

・・・最低限開示が要請される計数